

第4段階：ガリラヤにおける大宣教

J. イエスはガリラヤ周辺の異邦人地域へ退かれる

デイリー・ジーザス・ニュース #127

7. ペテロの偉大な告白

マタイ16.13-16（並行テキスト：マルコ8.27-29; ルカ9.18-20）

13 ^{MT}イエスはの上^Mは弟子たちと村々へで地域カイサリア・フィリピ。途中で、イエスが一人で祈っておられるとき、弟子たちも一緒にいました。イエスは尋ねられました 彼ら、

^{MT}人々は人の子をだれだと言っているか？

14 彼らは答えた。「ある者は洗礼者ヨハネだと言う。またある者はエリヤだと言う。またある者はエレミヤか、古代の預言者の一人だと言う。『は死から蘇ったのです。』」

15 ^{MT}「でもあなたはどうですか？」彼は尋ねた。「私は誰だと言うのですか？」

16 シモン・ペテロは答えた。「あなたはキリスト、生ける神の子です。」

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = ^{MT}、マーク = ^M、ルカ = ^L、ヨハネ = ^J、使徒行伝 = ^A。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書書を識別します。さらに、**イエスの言葉は赤いイタリック体で書かれています**。旧約聖書の引用は大文字で書かれています。

コンテキストダイジェスト

位置	カイサリア・フィリピ
タイムライン	7月（30月）
イエスの生涯の文脈	第4段階：ガリラヤにおける大宣教
	J. イエスはガリラヤ周辺の異邦人地域へ退かれる
タイトル	7. ペテロの大告白

コメント：

ペテロは、イエスの正体に対する信仰を告白した際、十二使徒の代表として行動しました。ユダヤ教指導者たちの知られざる霊的な盲目とは対照的に、ペテロの「偉大な告白」は天の光で輝いていました。この告白に先立つベツサイダの盲人の癒しという霊的なメッセージは明確でした。

弟子たちと2年半も交わりを持たれた後、なぜイエスはこの時に「大なる告白」をされたのでしょうか。多くの弟子たちが数ヶ月前、第三回ガリラヤ巡礼の終わりにすでに退いていたことを思い出してください。

第4段階：ガリラヤにおける大宣教

J. イエスはガリラヤ周辺の異邦人地域へ退かれる

イエスは群衆への奉仕から数ヶ月離れることで、ご自身と弟子たちを、これから起こること、すなわちご自身の死と復活に備えさせようとされたのです。

数ヶ月にわたる比較的静かな隠遁生活の後、イエスの宣教は最後の6ヶ月間、驚くべき行動の爆発をもって幕を閉じました。使徒たちと残された弟子たちは、迫り来る嵐の中をイエスと共に歩むために、冷静な心と勇敢な心を持つ必要がありました。そこでイエスは、彼らから自分への信仰告白を引き出し、すぐに十字架について教え始めました。

この場面には二つの特徴が際立っています。ルカは、この告白が祈りの中で起こったと記すことで、イエスの祈りの生活に深い関心を示していました。イエスは、いつものように個人的な祈りの時間を終えたばかりで、弟子たちは自分が何をしているのか分かるほど近くにいました。十二使徒からこれから引き出そうとしている告白に、イエスの祈りが集中していたことは間違いありません。祈りは常にイエスの宣教の基盤でした。

告白が行われた場所が異邦人カイサリア・ピリピの近くだったことも重要でした。街を見下ろす岩山には、ギリシャ神話の神パンをかたどった洞窟、つまり石彫がありました。ヘロデ王は、この地にカエサルを崇拝する神殿も建てました。この町は異教の崇拝で有名でした。また、旧約聖書に登場するイスラエルの十二部族の一つ、ダンの町でもありました。この「偉大な告白」は、霊的な暗闇に包まれた場所でなされましたが、同時にすべての国々にとって啓示の光となりました。

ペテロの告白はイエスの正体に関するものでした。「あなたは私を誰だと言うのですか？」彼は簡潔にこう述べました。「あなたはキリスト、生ける神の子です。」これはイエスの人格と働きに関する二重の告白でした。

(1) イエスは、その人格において「子」であり、それゆえ父なる「生ける神」と一つでした。ペテロはまだ、ここで彼が抱いていた三位一体の神秘を理解していませんでしたが、このようにイエスを特定することで、「生ける神」が神であるのと同じように、イエスも神となりました。

(2) ペテロは自身の働きに関して、イエスが「キリスト」（ギリシャ語）であり、ヘブライ語で「油を注がれた者」または「メシア」であることを告白しました。十二使徒はメシアの聖書的働きについて依然として大きな誤解を抱いており、イエスはすぐにそれを正し始めましたが、ペテロはこの発言において、イエスが誰であったか（そして今も！）について正確な告白を行いました。イエスは、新契約時代の預言者、大祭司、そして王という三重の働きを成し遂げました。

この「偉大な告白」が行われた時点で、イエスは40ヶ月にわたる宣教活動の約30ヶ月目にありました。イエスは時間をかけて十二使徒を召し、教え、信仰と理解を深めてきました。しかし、彼らにはまだ長い道のりが残っていました。彼らはイエスがキリスト、生ける神の御子であると信じていましたが、メシアの第一の働きが、世の罪の赦しと清めを得るために死に、全く新しい人類の頭として死からよみがえることにあることを、まだ理解していませんでした。

この「偉大な告白」は、イエスの宣教におけるもう一つの重要な転換点となりました。イエスは死の前の残りの8ヶ月間を、弟子たちが聖書におけるメシアの役割を理解できるよう備えることに費やされました。そ

第4段階：ガリラヤにおける大宣教

J. イエスはガリラヤ周辺の異邦人地域へ退かれる

して、すぐに十字架上でご自身の死について弟子たちに教え始めます。それは彼らにとって決して容易な教訓ではないでしょう。

応用：

神がキリストにおいてご自身を啓示されたことは完全で完全なものですが、私たちの理解は漸進的で不完全です。このことは、十二使徒の弟子たちに如実に表れています。彼らは最後までイエスの言葉と使命を誤解し続けました。しかし、彼らは信仰をしっかりと告白することができました。

神は主権者であるため、イエスは彼らの意志に反して彼らを救い続けました。これは愛と恵みの実践です。私たちが救うのは、信仰の強さや献身ではありません。イエスが真にキリストであり、生ける神の御子であるという事実です。だからこそ、イエスは私たちのこの人生におけるあらゆる苦難、不完全さ、失敗を通して、私たちが導き、守ることができるのです。

主権を持ち、全能で、全知で、常に存在し、限りなく愛に満ちた神だけが、私たちの人生におけるあらゆる経験—良いことも悪いことも—を受け止め、それらを通して働きかけ、最終的に純粋な善のみを生み出すことができるのです。神は私たちの巨大な岩盤であり、私たちが立つ確かな土台です。

今日は感謝と賛美と礼拝の中で、どのようにイエスへの信仰を告白しますか？

あなたは今日、証しと奉仕を通して、どのように主への信仰を告白しますか？